

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成30年1月18日(木) 12:00～13:30
- 2 開催場所 天草市港町9番1号 天草ケーブルネットワーク(株)会議室
- 3 出席委員 委員総数 8名
出席委員数 7名 欠席委員数 1名
出席委員の氏名 中川竹治／永田章一／野上俊樹／松下美奈子／明瀬実
山口誠治／古賀源一郎
欠席委員の氏名 原田竜一
放送事業者側の出席者 代表取締役 馬場昭治、総務部長 赤石一馬
ラジオ事業局長 芥川琢哉 事務局 脇坂公敏

4 議題

- [1] 委員長、副委員長の選出
- [2] 審議委員会規定について
- [3] 番組聴取、審議
- [4] その他

5 議事の概要

- (1) 放送番組審議委員会 委員長、副委員長の選出について
下記の通り選出いたしました。
委員長 松下美奈子
副委員長 古賀源一郎
- (2) 審議委員会規定について
ラジオ事業局長芥川琢哉より、番組審議委員会の規定について詳細に説明がなされました。委員会はこれを承認いたしました。
- (3) 番組聴取、審議について
【番組聴取】
※次の番組について試聴し、審議を行いました。
平成30年1月11日放送分
朝のみつばちラジオ～緊急編成 降雪情報～昼のみつばちラジオ
(ダイジェスト版 降雪による緊急編成番組)
【審議】
審議に入る前に、当日、オペレーターとして番組を担当していた芥川局長から降雪情報番組の当日の状況の説明があった。

(山口委員) 私の周辺の人からは、この放送は非常に良かったとの評価を得ている。渋滞の可能性があるので特に女性の方はトイレを早めになど優しいコメントも聴かれた。車で聴いていた人も多く、ラジオの重要性が天草のリスナーに認識されたと思う。今後については、緊急

時の放送のシフト、体制を確立する必要がある。

(松下委員長) いざという時役立つラジオという印象を多くの市民に植え付けた。

これから大事なのは一人でも多く、みつばちラジオに情報を流すリスナーを増やし、緊急時に今の天草の正確な情報を届けてくれる確かな人を開拓すべき。

(古賀委員) まだ、情報収集力が甘い。沿線沿いの店舗の方々などに特派員になってもらい、情報を集めたり、裏付けをとったりする体制を日ごろから作っておく事が必要だ。情報収集能力を挙げて欲しい。

あと、内容が市役所中心、本渡中心になっている。翌日12日は牛深～本渡間が凍結で2時間以上かかるような状況だった。こういった状況をもっとフォローして欲しかったという意見も聞いた。

事故などあったら、すぐに渋滞などが発生する。警察、消防などとの連携も強化し、直接情報がもらえるようにして発信力を強化して欲しい。

(明瀬委員) 情報は早め早めに手を打って伝えて欲しい。特派員については、各町何名かずつそろえて欲しい。信頼できる情報を伝えてくれる人が必要。それと情報発信のマニュアルの整備も進めて欲しい。

(馬場社長) 皆さんからご指摘いただいた、各町の情報を集め発信する体制ができてない事については、各団体、天草市の各支所と協議を進める。災害時の危険個所やその場所の確認先を共有し、双方向で早い情報を市民に届ける手段を構築したい。

ラジオのチラシなどで、サイマル放送の告知に力を入れていたら、高齢者がラジオで聴く事ができることを知らなかった、スマホだけの放送だと思ってたとの話を山口委員から教えてもらった。盲点だった。みつばちラジオの周知も併せて進める。

(野上委員) 他局のFMより、感度、音質共によい。今回の大雪で広がりを見せてきたので更に周知を進めて欲しい。

(古賀委員) 加えて下田、崎津をはじめ、難聴地域を解消し、市民に情報が行きわたるようにしなければならない。

【その他】

芥川局長から、12月23日に本渡中央商店街のスマイルパークから、公開生放送を行い、50件近くのメッセージ、リクエストが寄せられた事、1月28日には天草マラソン大会にて公開生放送を行う旨の報告があった。

また、事務局の脇坂より、天草市が番組審議委員会に参加を希望している旨の報告があった。委員長はこれを諮り、委員会はこれを承認した。

(4) 審議機関の答申または意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページ(2月予定) <http://www.acn-tv.ne.jp/>

以上